

第7回 雄物川河川環境検討会

第1回勉強会(ワークショップ)の報告

平成28年3月6日

国土交通省 湯沢河川国道事務所

1. 勉強会の趣旨・目的について

【趣旨・目的】

本勉強会は、雄物川・玉川の河川環境の変化を踏まえ、川の生物の住み処をどのように再生していくか、などの川の自然再生のあり方について、地域の方や関係者等と一緒に学び、考えていくことを目的とします。

また、将来的には、雄物川・玉川の特徴であるワンド・たまりの再生や、再生後の利活用やモニタリング(見守り)を通じて、河川愛護意識の醸成・浸透を図るとともに、昔ながらの漁法「ためっこ漁」や環境学習等を通じた「川とのふれあいの再生」を展開し、地域一体となった川の自然再生を行っていくことも目的とします。

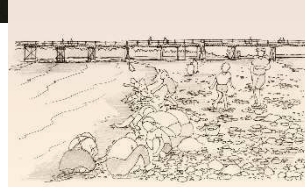
雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会のイメージ



▲河川環境の変化、ワンド等の劣化・消失の現状



▲生息している生物



▲川と人とのふれあい

雄物川・玉川の自然再生に対する勉強

意見交換
共通認識

1. 自然再生の目標
2. 自然再生の方法
3. 再生箇所の利活用(ふれあい)
4. 再生後のモニタリング(見守り)

ワンド・たまりをどのように再生するか

どのように利活用(ふれあい)していくか

作った後にどのようにモニタリングしていく(見守る)か

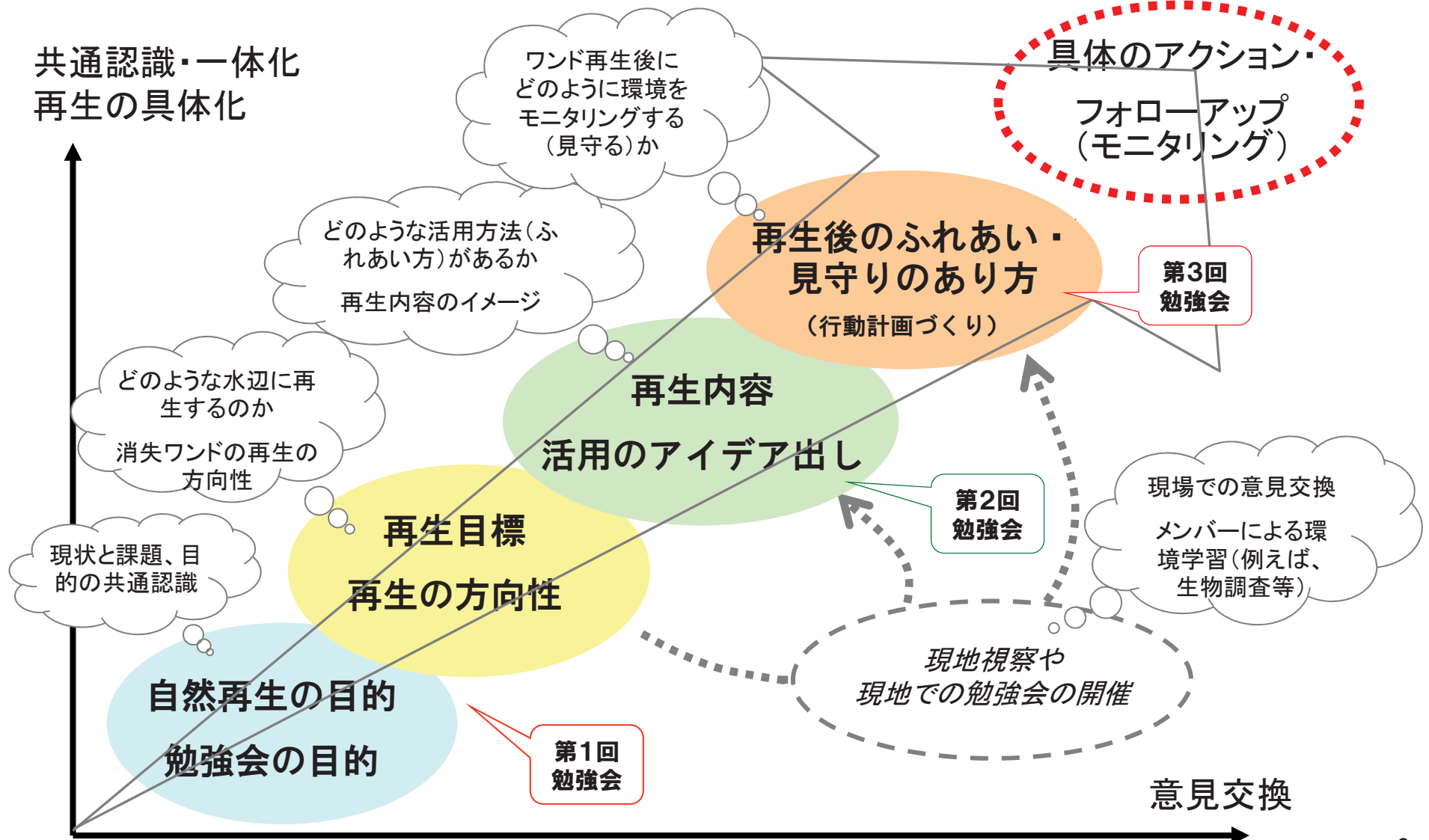
自然再生を通じたふれあい・見守り

1. 勉強会の趣旨・目的について

【進め方のイメージ】

● 勉強会の進め方

雄物川・玉川の自然再生のあり方について、玉川の消失したワンドの再生をモデルケースとして勉強会を実施



1. 勉強会の趣旨・目的について

【具体の進め方】

●勉強会の進め方(案)

勉強会	会議の概要	目的
第1回勉強会 2月6日(今回)	<ul style="list-style-type: none">・勉強会の目的・進め方・雄物川・玉川の河川環境の変化・自然再生の目的・目標・消失ワンドの再生内容の説明	<ul style="list-style-type: none">・勉強会の目的・進め方の合意・現状と課題、自然再生の共通認識・消失ワンドの再生の方向性についての確認
第2回勉強会 (5~6月頃予定)	<ul style="list-style-type: none">・玉川の水辺(ワンド)の環境に対する共通認識・再生の方向性の意見交換(ワンドの視察・各種調査・勉強会等)・消失ワンドの再生を通じた利活用(イベントや各種活動等のふれあい)に関するアイデア出し	<ul style="list-style-type: none">・玉川のワンド環境の把握・消失ワンドの再生内容のイメージの共有・再生を通じた利活用やモニタリングの方向性の確認
第3回勉強会 (9~10月頃予定)	<ul style="list-style-type: none">・消失ワンド再生箇所の現地視察・再生を通じた具体的なアクションプラン(イベントや各種活動等のふれあい)や、再生後のモニタリング(見守り方法)に対する意見交換・今後の進め方(予定)について	<ul style="list-style-type: none">・消失ワンドの再生内容(工事内容)の最終確認・アクションプラン(利活用やモニタリング)の作成・今後の進め方の確認

2. 第1回勉強会の報告

【参加者の募集状況】

- 大仙市との事前打ち合わせ等も踏まえて、「雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会」として開催する方針とし、募集用のチラシを作成した上で、下記的手段により参加者を募集しました。
- 最終的には、14名の参加応募がありました。

- ・ 市政だよりによる周辺自治会への配布
- ・ 公民館等への配布（四ツ屋公民館だより）
- ・ 湯沢河川国道事務所のHPの掲載
- ・ 大仙市からの団体・学校等への呼びかけ

募集結果

- ✓ 個人としての参加 × 2名
- ✓ 地元協議会の方 × 3名
- ✓ 環境団体 × 4名
- ✓ 学校関係者 × 2名
- ✓ 地元の建設関係 × 2名
- ✓ 漁業協同組合 × 1名

玉川の河川環境の変化と再生について考えてみませんか？

～雄物川・玉川の自然再生に関する勉強会～

2016年2月6日(土)

時間／10:00～12:00(開場 9:45)

会場／大仙市四ツ屋公民館

※会場の詳細はチラシを参照ください

参加費 無料

雄物川や、その支流の玉川は、水辺に河原が広がることも、水生生物が生活しやすい環境である「ワンド」や「たまり」が豊かにある一帯に、「のり」でも多いのが特徴で、「トミ」(産卵場)のような貴重な魚も生息しています。しかし近年、河原や川岸の樹木が進み、ワンドやたまりの面積が減少し、水生生物が生活しやすくなるような環境が減少しています。国土交通省では、このような状況の改善を目的に、多様な生物を育んでいく、かつての豊かな環境の再生に向け、河原やワンド「たまり」などの自然再生を図るための取り組みを始めています。

そこで今回、玉川の河川環境の変化を踏まえ、川の生き物のすみかのように再生していくことについて、地域のみなさんと一緒に学び、考えていくための勉強会を開催したいと思います。川や生物、自然に興味がある方がご参加をお待ちしています！

※ワンド(たまり)の中にはある程度の水深のことで、魚類にとっては浮遊性の稚魚や稚魚の生活の場ともなります。※一帯(河川)は国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所、大仙市、大仙市教育委員会、湯沢河川国道事務所、湯沢河川国道事務所より開催いたします。

水辺の緑化(雄物川の例) H12に実施されたワンドが、H19には土砂の堆積により縮小し、その縮小したワンドはさらに緑化(ワンド)面積の減少が進行している様子が分かります。



主催 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 協賛 大仙市、大仙市教育委員会

▲チラシ(1500枚印刷)

勉強会の内容(予定)	
第1回勉強会 (今回)	●事務局からの説明・紹介 ○参加者の質問・意見交換について ●意見交換
第2回勉強会(平成28年春頃)	●現地視察 ○川岸の回復状況について ●現地視察を踏まえた意見交換
第3回勉強会(平成28年夏頃)	●現地視察した箇所を例に、再生による生物の回復をどのように調べるか等の意見交換

会場とアクセス

会場／大仙市 四ツ屋公民館
住所／大仙市四ツ屋下町162-4
TEL 0187-66-1500

お申し込み方法

お申し込み先
湯沢河川国道事務所 工務第1課
担当 自内(しるど) 滝澤(あさむ)

TEL 0183-73-5504
FAX 0183-73-3190
E-mail shiroto-s22ac@milit.go.jp

お申し込み締切日 2016年1月25日

お申し込み用紙

氏名 / 年 齢 / 性 別 / 男 性 ・ 女 性 / 職 業 / 住 居 / 住 所 / 電 話 番 号 / 所 属 する 団 体 名、 校 協 等 /

その他、ご意見等ありましたらお書きください。

※お申し込みいただきました個人情報は、資料の発行以外には使用いたしません。
※お申し込みの多い場合は、事務局で調整させていただきます。

【2】平成28年2月1日 第70号

小学校から
卒業式に参加してみませんか？

地味のみならず
卒業式に参加してみませんか？

国土交通省からのお願い

河川環境の再生について考えてみませんか？

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所は、大仙市より「玉川の自然再生に関する勉強会」を開催します。川や生物、自然に興味のある方がご参加をお願いします。

内容
・勉強会の目的と進め方について
・玉川の環境変化について
・国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 大仙市、大仙市教育委員会

協 力 者
・湯沢河川国道事務所

※今後、春頃と夏頃に「現地視察」「再生による生物の変化をどのように調べるか」等の勉強会を予定しています。

玉川は、水辺に河原が広がることも、水生生物が生活しやすい環境である「ワンド」や「たまり」が多いのが特徴です。しかし近年、河原や川岸の樹木が伸び、ワンドやたまりの面積が減少し、水生生物が生活しやすくなるような環境が減少しています。国土交通省では、このような状況の改善を目的に、かつての豊かな環境の再生に向け、河原やワンド「たまり」などの自然再生を図るための取り組みを始めています。そこで今回、玉川の河川環境の変化を踏まえ、川の生き物のすみかのように再生していくことについて、地域のみなさんと一緒に学び、考えていくための勉強会を開催したいと思います。川や生物、自然に興味がある方がご参加をお待ちしています！

※ワンド(たまり)の中にはある程度の水深のことで、魚類にとっては浮遊性の稚魚や稚魚の生活の場ともなります。※一帯(河川)は国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所、大仙市、大仙市教育委員会、湯沢河川国道事務所より開催いたします。

▲四ツ屋公民館だより

2. 第1回勉強会の報告

【開催概要】

第1回勉強会の概要

- 日程：平成28年2月6日（土）
10：00～12：15
- 会場：四ツ屋公民館 2F 研修室
- 司会：湯沢河川国道事務所

プログラム

1. 開 会
2. 挨拶
3. 自己紹介
4. 勉強会の趣旨・目的について
 - (1)勉強会の趣旨・目的・スケジュールについて
 - (2)質疑応答
5. 本日の勉強会
 - (1)雄物川・玉川の河川環境の変化について
 - (2)雄物川の自然再生と他河川の事例について
 - (3)玉川消失ワンドの再生について
 - (4)質疑応答
 - (5)意見交換（テーブル囲んで）
6. その他（今後の予定等）
7. 閉 会

参加者：12名（申し込み14名）

勉強会の様子

開会の挨拶

HP非公表

自己紹介の様子

HP非公表

2. 第1回勉強会の報告

【勉強会の様子】

勉強会の様子

- 参加者の方は、環境について勉強したい、きれいな川を再生したいという意識が高く、説明を熱心に聞き、質疑応答も活発に行われました。

資料説明の様子

HP非公表

意見交換の様子

HP非公表

HP非公表

玉川消失ワンドの再生について

- 以前、水辺の楽校周辺の遊歩道計画があった。ワンド周辺で散策路を一緒に整備できないか。
- 計画の段階から、PTA等を巻き込んで、親子で消失ワンドが変わっていく姿を観察してもらったらどうか。

消失ワンド再生の説明の様子

HP非公表

参加者からの意見の概要(自己紹介時の意見含む)

- 参加者からは、昔の川の姿や、感じている環境の変化、再生への思いについて話しを頂きました。

【川の自然再生について】

- 昔より湧水やトミヨの確認が少なくなっており、生物を守るための仕組みが必要と感じている。
- 河川のイバラトミヨ雄物型を保全するためにはワンドの再生が重要
- 河原が減っている箇所も再生が必要ではないか。
- 河原の創出についてみんなで出来ることは無いかな。
- 二極化対策を先にしないと、ワンドを掘っても埋まるのではないかな。

【樹林化について】

- 最近アカシアの木が大きくなっていると感じる。
- 樹木伐採は後始末も大変だが、昔のような景観に戻ると良い。
- 木の繁茂に伐採が追いついていない。
- 大きな出水が無いので樹林化しやすい。

【地域との関わり】

- 地域のコミュニティ会議の将来ビジョンづくりに若い人が参加しており、自然を守ったり、子供に自然に触れさせたいという思いを持っている。
- 四ツ屋地区には30~40才代が中心の活動組織(保育園の親御さん・PTA関係者)があるので、例えば声をかけてみてはどうか。

【水辺のゴミについて】

- 水際にゴミが多い。地域ボランティアによる清掃も含めて、何とかしたい。

3. 今後の予定 (案)

【今後の予定(案)】



今回参加者への案内
チラシによる周知・募集

第1回 (今回)

<目的>

- ・現状と課題の共通認識
- ・勉強会の目的・進め方の合意
- ・消失ワンドの再生の方向性についての確認

→雄物川・玉川の河川環境の現状と課題、自然再生目標について学ぶ
→再生内容の説明
→次回以降の開催方針について検討

第2回 (次回)

<目的>

- ・玉川の水辺環境(ワンド)の把握
- ・消失ワンドの再生内容のイメージの共有
- ・再生を通じた利活用やモニタリングの方向性の確認

→玉川のワンド・たまりに生息・生育する生物の確認(魚類・昆虫・植物調査など)
→再生を通じた利活用に関するアイデア出し



(イメージ)

(イメージ)

第3回 (次々回)

<目的>

- ・消失ワンドの再生内容(工事内容)の最終確認
- ・アクションプラン (利活用やモニタリング)の作成
- ・今後の進め方の確認

→再生箇所の確認(植物・昆虫調査など)
→具体的なアクションプランや、再生後のモニタリング(見守り方法)に対する意見交換
→今後の進め方(予定)について検討



(イメージ)